

2016年度 研究推進委員会企画研修会のご案内

テーマ：「キャリア教育研究」掲載の論文を読む
－基本的統計資料の理解を中心に－

日時：2016年11月6日（日） 12:00から16:00

場所：南山大学名古屋キャンパス D棟4階 D41教室

http://www.nanzan-u.ac.jp/Information/navi/nagoya_main.html

対象者：統計資料を用いた研究論文を理解できるようになりたい会員の参加をお待ちしています。（今回は入会申請中の方はご遠慮ください）

定員：30名（先着順とさせていただきます。定員は一応の目安ですが、大きく上回る場合はお断りさせていただくことがあります。）

講師およびTA：浦上昌則（研究推進委員会）・杉本英晴（中部大学）

参加費：必要ありません

目的：

今回の企画は、特に統計指標についての理解を深めることで、『キャリア教育研究』掲載の論文が読めるようになる（理解できるようになる）ことを目指します。『キャリア教育研究』第34巻第1号に掲載された、白井利明先生の論文「高校生のキャリア・デザイン形成における回想展望法の効果」を題材に、その構造や統計指標の意味、論文を読む際の留意点などについて解説します。レベルとしては、大学学部カリキュラムにおける統計学の初中級程度の内容を想定しています。このような授業を履修した経験がなく、しかし「キャリア教育研究」掲載の論文が理解できるようになりたい会員の参加をお待ちしています。

内容（予定）

1. 論文とは

- ・想定読者と論文の基本構造

- ・本論文の構成と統計利用の理由
2. 本論文を読むための統計的知識
- ・測定について
 - ・平均値・標準偏差
 - ・因子分析
 - ・相関係数と無相関検定
 - ・重回帰分析
3. 本論文の示唆とクリティカルな検討

留意事項（参加にあたって必要な予習事項）

・論文「高校生のキャリア・デザイン形成における回想展望法の効果」を熟読しておいてください（当日は、雑誌自体もしくはコピーをご持参ください）。ポイントは、どのような構成になっているのか、その大きな枠組みを抑えておくことと、知らない用語に印をつけておくことです。

・題材となる論文に記載されている数値が読めない、何を意味しているのかわからないといった、統計初学者を対象としますが、ゼロからスタートしては時間が足らないので、「平均値」、「分散（標準偏差）」、および「共分散」について予習しておいてください。この3つについては既知のものとして説明を進めます。なおこれらは、現在、高校の「数学 I」で学習する内容となっていますので、web 等でも多くの情報を得ることができます。特に「分散（標準偏差）」、「共分散」については、意味や計算の仕方を理解しておいてください。

申し込み

パソコン、タブレット、スマートフォンなどで…

- ①「REAS」で検索
- ②左側メニュー上から3つ目の「回答ページへ」をクリック
- ③調査票 ID の欄に「41973」と入力（パスワード欄は記入不要）

もしくは以下の URL，もしくは QR コードから直接アクセスしてください。
(放送大学のシステムを活用させていただいています)

<https://reas2.code.ouj.ac.jp/reas/q/41973>

